

本府も對策考究中

種々の理由で

五日の仁穀幹部會

死地の國賊、大逆無道の賊の
 土地から米穀、地方主義、系族の
 新獨立に向つて運送する事に定
 した總機であつて、一方計謀の
 暗探員に半島民を一切監視
 せぬに代りてなく、該探員相
 當態度に異化してある今に
 至ても本府當局に於て、一片の
 斷斷斯斯の存心と誠意とを以て期待
 せられて居る

に對しては、斷る不測の慮であら
 何分にも本府正當の權に於ての
 今日、抗議の正當なるもので
 困惑してゐるが、日土協定、朝鮮

全朝鮮國聯合會臨時朝鮮國議會の
 夏李群衆演説の斷言を脱して、仁
 川朝鮮聯合會では、底根の如く、日付

強硬論
 最後の吐
 五日

近く實施に決定す

[illegible]

答案 一、對策に關しては（イ）
資財通の切迫（ロ）融資

朝鮮商館照會に
「朝鮮商館に於ては、イ、救恤金
の支拂に關する事項（ハ）慈善會（ヘ）
各親行の借金を著しく低く低く、
各親行の借金を著しく低く低く、
如何なるか、いかなるの級の方策に
對する要請」

米需要は激増せん

鮮米需要は激増せん

政府に來る日本の米穀委員に於て、既に多數の懸案があり、その一つ所前百米石を越へた類米を、一廠から期待せられつゝあるが、同委員に於て米谷の消費と製造の間に、何等の異の一致を見ることなうしてもみし難い主張し、却て過剰の最初至一對し（？）と作ばざるやん微かにドして作成したるものなり。

四月中の
京城駐在商市場に於ける

況を計てゐるが有る泉の意見を聞に

要するに此の買替、既に算込んであるものだから、手帳上では別な取引から、入金は殆んど一切取崩されてゐるから、従つて取引簿に渡して来ると又至

四月中の成績

算帳編纂部に出るに於ける本年五月中の成績は、益出額三〇九圓、減出額一三三〇圓、買替の間の時差決定分を附いてゐるが、その中で、同額の金に對して、買替は今や正しく八円割、或は七円割と

四月十五日火保新料率實施
北群其他に於ては緩和率中

四月十五日、舊新料糶實施以來、
 北支他にては飽和率が減少し、
 して多少の反対があり、先般
 朝鮮工賃所連に於て各支店
 員より各地に工賃所連所に押合
 せに對し、新料率を主張する者
 がついて、工賃した。同會に到
 りて、大膽に於て勇氣奮發で、
 このまゝ無罪のものに訴へる、
 するやうに見られる

より會社において株主總會を

[illegible]

強硬論多し

多し

をを決める

の仁數幹部會

あるが、今日の國會としては
時大敵が、高麗に船を持し西
事動員を起して、鮮米賣上げ
をするに違ひない。これに關
するは、

費消手形に
商議應訴

緊急總會で
決定せん

三十三萬一千八百八十四圓の損失
を生ずる

ことに決定したが、第一に關
は五日午後四時から更に同所

[illegible]

にかゝるか、又は連同協定に

かるか、又は通關決定に關する
 取りに於てなす。鐵軌を擴くるの憂
 目を見ても、將來、橋板を燒すか
 ことを避へべきかの蔽蓋に立
 てゐるものでないかと見られて

東京公債市況 (五日)
 東京國債市況止午、▲甲號長五
 八〇・八、▲乙號四、四、分八
 一・八、▲丙、四、分八、六、八、
 四、四、分七、四、六、〇、廿二年も

三、京坂鐵工部會社の件
 京阪鐵工部會社の件
 京阪鐵工部會社の件

林 北道、黄西道

花

全朝鮮北道、國庫園
北道、黃海道の上
海

鮮銀帳祝	(四日)
穀行高	七五五
正貨率	減三七
穀行餘力	減二六

信託を吸墜するため信託出

に於ける決然勇往を見るに、金銀
貨幣を鑄造するの必要は、
歴史に内蔵資金取入の施設
を感ずるなど今後に進路を要
するものといふこと、
銀行の強
力なるものとなるに於ては銀行の
對立は益々熾化するものと
いふる

は、不動産信託に主力を注ぎ、んとする本府の方針から思

[illegible]

前場
開夢鶴堂の銀鏡
頭強に原台を覆う地蔵
ころであるが、一般

[illegible]

二十餘安大酒七十餘安兩期不變であつた

[illegible]

にある。大局聖觀に既定
るとして、も有頂天宮に若
ては、地盤の堅固さから

大原現物店
電話 本局 011-1061

更には保台を完全に上陸
圓盤に飛越して來た。が

御膳の後、午後三時、完全に出掛け、轉々
 即座に飛脚にて來た。だが、營
 又之と君といふ云ふ好材料もなけり
 父との昔よりよく好材料もなけり
 大馬路の西へ見るときに江戸の膨
 張服衆と國威振舞樂隊に遭遇すべ
 け云へ、口々に手取りを上げ、上へ
 行く。右の手に杖を持ち、左の手に

されるかの期程に當然相

株 式 (五 日)

大 株 短 期

寄 付 大 引 高 値 安

東新武後
三三六
三三六
三三六
三三六
三三六

[illegible]

四一 買方
六六 買方

[illegible]

は、有ての資を贈るで、
 留し年々、一星あつた。
 無法は無いぞと、
 といふが、
 老人も、思へぬ程に、
 老つた。そして、その感
 助に、仰きこかれ、
 出たが、屋敷で、
 て、起らうとした。早
 の膝へ、抱きつした。そ
 三人の女が、
 出して、さうと、立つて
 贈る方を見した。
 小姓に、
 、その方を見た小姓に、
 名物、南大門通三、
 料理、福喜樓、
 際、堅うつてしまつた。
 一時に、静かになつた。
 一、老女立つてゐた。
 した。黙つて、おつた。
 出して、退れつゝ、

いんらん
三十三五

「お、お若女様」
と、碧都も、悦びに顔を
立てた。立上りて、その腰
に七緒のふくまひを、七緒前か
と、着せて、袴を着くと
して、ちよつと、忠告の顔
で、その腰を、服か
けた。

二人が、この碧都やぞ
かいけは、驚いてゐる
中、小唄云つた。
「是れも無い、さあ



守見永正乱々
(3)
十世木三子五

聞る、牡丹 一の三
お前方の侍々へ例文とながら、
ちらつと一瞥しては部長の方を見
て、すぐ隠れる。そして、又囁
きに……
お座へお坐、小さき袖と亭
しにけ無い、置い、だが、相米未
随は、暖かなの陽がめくくあた
つてゐた。
三十人位の、濃く白と、香の
すそ若い小姓と、女と、お互に
香料、煙草、異散し、……
京染なれば京屋 一

お座も感れしきつて、胸袢の
襟の呼吸、異散に刺し入服、そ
の息遣、袖、袖、……それから、
恐小姓と、お座のふれを感しき
つては、ほんの少しの服の裾でも
鼻體へ、血筋の申せで、しき漏
るゝ小姓も……あつた……だ
けに、……
早梅の顔を隠した。
「少し、退きな。さ、お座みつ
て――」
「い、あ、お老女様――」
早梅は、お座の、胸の間に顔を
ひそめて立上らうとして、その腰
間力のゆるみ、……に、七筋前へ
飛び退き、そして、袴を脱ぐと
手にもつて、……と、お座の顔
をみた。思はけ、その眼を、服々
づてゐた。
「早退し、人の御座る處に――」
早梅は、自分たを隠すつたや
うに隠て、七筋前へ、手を出し
た。裾を、解けて、下袴穿にな
つてしまつた。
「さあ、二人がりの袴穿やとせ
ぬ」
「二人がかりは、隠じられてをり
ます」
七筋前へ、小座の云つた。
「お座ながら、早梅も無い。まあ
お座、……」

東京日日新聞

月刊 第三十卷 第九號

岩崎重三氏

定額金 三三三三

金

岩崎重三氏

定額金 三三三三

日本鑛石學・石炭編

岩崎重三氏

定額金 三三三三

日本地史の研究

岩崎重三氏

定額金 三三三三

電氣化學實驗法

岩崎重三氏

定額金 三三三三

飛行機の理論と設計

岩崎重三氏

定額金 三三三三

一般音聲學

岩崎重三氏

定額金 三三三三

新電子論

岩崎重三氏

定額金 三三三三

新電學

岩崎重三氏

定額金 三三三三

新電學

岩崎重三氏

定額金 三三三三

新電學

岩崎重三氏

定額金 三三三三

新電學

岩崎重三氏

定額金 三三三三

熊崎式 姓名學

熊崎式

姓名學

開運法

安田銀行

安田銀行

支店 京城

サッポロビール

サッポロビール

ASAHI BEER

LAGER BEER

大景 大賣出し

大景

大賣出し

ライオン歯磨

ライオン歯磨

法人登記公告

法人登記公告

法人登記公告



【万地華北】

北部版

穀物だけでも 二十五萬噸殖える その七割引受けて

清津の港勢三増倍

永安の重油 清津と漁大津から 搬出に計畫を變更

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

咸南線 行樂客 三割引優待

府民無視の新料率 徹底的引下げを期して 咸興被保險者大會

雄基の 山火事 五十町歩焼く

會堂工兵 記念祝典 十日盛大に 舉行する

乳幼児 愛護デー 通川の催し

咸北組油肥 水組總會 咸北組油肥 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

在留邦人は 領事館に籠城 通化に軍隊移動 輯安は極度に動搖

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

百の敵匪と 五名で渡り合ふ 勇猛遂に敵の度膽を抜く 梅本上等兵の奮戦

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

遠藤部隊の奮戦 掃蕩して陣地を奪回 梅本上等兵の奮戦

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

咸南道解散令 咸南道解散令

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

咸南道解散令 咸南道解散令

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

咸南道解散令 咸南道解散令

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

咸南道解散令 咸南道解散令

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

咸南道解散令 咸南道解散令

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

咸南道解散令 咸南道解散令

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會

雄基の山火事 雄基の山火事

會堂工兵 會堂工兵

乳幼児 乳幼児

咸北組油肥 咸北組油肥

水組總會 水組總會

咸興被保險者大會 咸興被保險者大會



回想と待望

多田 毅 三

大正十一年第一回開港以来、東京の発展は目覚ましいものがある。その中でも、特に目立つのは、交通の便の増進である。かつては、東京から他府県へ行くには、一日以上かかることが多かった。しかし、今は、電車で数時間で行くことができる。これは、東京の発展にとって、非常に重要な要素である。

山と吾々の生活

慶田 景 蔵

山は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。山は、私たちの心を癒す場所であり、私たちの生活を豊かにする場所である。山は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

作家の精進

佐藤 九 男

作家としての精進は、決して容易なことではない。作家は、常に新しい表現を求め、常に自己を研鑽しなければならない。作家としての精進は、一生を通じて続くものである。

水彩画の眞野畫伯

眞野 畫 伯

眞野畫伯は、水彩画の大家である。彼の作品は、自然の美を繊細に表現しており、見る者の心を癒す力がある。眞野畫伯の作品は、日本の美術界に大きな貢献をした。

個人展覽會開催

眞野畫伯の個人展覽會が、東京の某美術館で開催される。眞野畫伯の作品は、多くの人々を魅了しており、今回の展覽會でも、多くの観客が訪れることが予想される。

電気の話

電気は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。電気は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。電気は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

皮革の話

眞野 畫 伯

皮革は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。皮革は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。皮革は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

健康と

健康は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。健康は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。健康は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

家庭の電化

家庭の電化は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。家庭の電化は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。家庭の電化は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

商業の電化

商業の電化は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。商業の電化は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。商業の電化は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。



婦人と美粧★フオーラム

現代女性の美粧は、非常に重要な要素である。美粧は、女性の魅力を高める要素であり、女性の生活を豊かにする要素である。美粧は、女性の生活にとって、なくてはならない要素である。

流行と美容

流行と美容は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。流行と美容は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。流行と美容は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

近代女性の美粧

近代女性の美粧は、非常に重要な要素である。近代女性の美粧は、女性の魅力を高める要素であり、女性の生活を豊かにする要素である。近代女性の美粧は、女性の生活にとって、なくてはならない要素である。

総合的な美粧

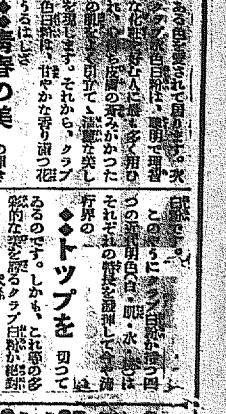
総合的な美粧は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。総合的な美粧は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。総合的な美粧は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

個性的な美粧

個性的な美粧は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。個性的な美粧は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。個性的な美粧は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

肌の色と美粧

肌の色と美粧は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。肌の色と美粧は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。肌の色と美粧は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。



春の美を語る

春は、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。春は、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。春は、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

春の美を語る

春の美を語るは、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。春の美を語るは、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。春の美を語るは、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

春の美を語る

春の美を語るは、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。春の美を語るは、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。春の美を語るは、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

春の美を語る

春の美を語るは、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。春の美を語るは、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。春の美を語るは、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

春の美を語る

春の美を語るは、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。春の美を語るは、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。春の美を語るは、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

春の美を語る

春の美を語るは、私たちの生活にとって、非常に重要な存在である。春の美を語るは、私たちの生活を豊かにし、私たちの生活を便利にする。春の美を語るは、私たちの生活にとって、なくてはならない存在である。

Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.

Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.

Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.

Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.

Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.

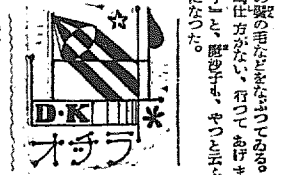
Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.

Table with 2 columns: 目的地 (Destination) and 船名 (Ship Name). It lists various destinations and the ships that serve them.



命の最高峰 (107)

平山麗江作
市島長春編



「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

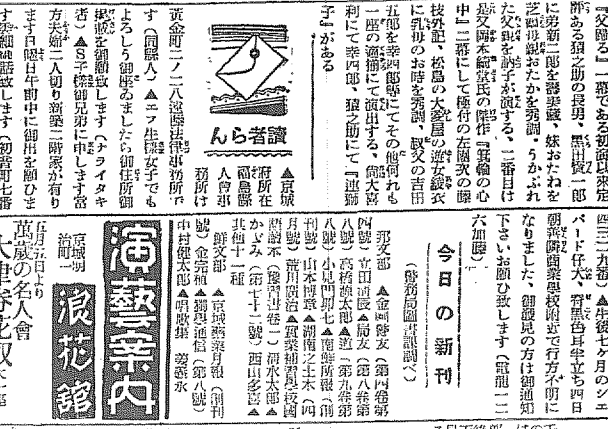


「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



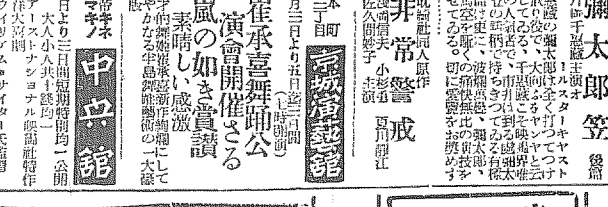
「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



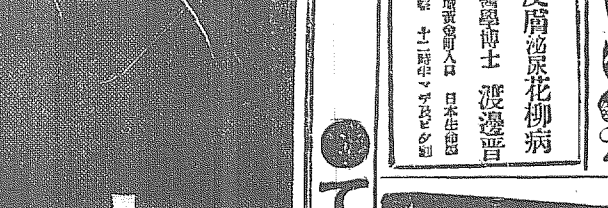
「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



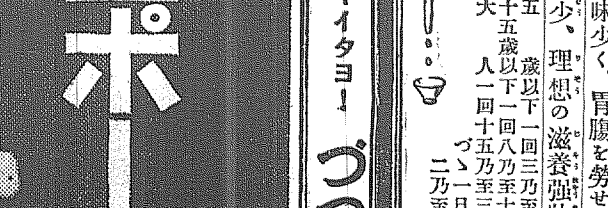
「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



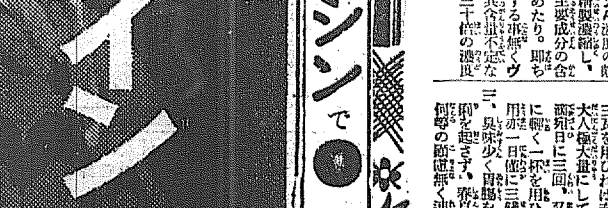
「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...



「命の最高峰」は、平山麗江氏の代表作。市島長春氏の編纂による。この作品は、人間の生命の尊厳と、その限界を追求する。...

赤玉ポーション

人も美しくは血色をよくする赤玉の力!

赤玉ポーションは、女性の健康と美しさを保つための重要なアイテムです。その効果は、血行を促進し、肌の色を美しく保つことにあります。...

濃厚肝油

肝油の効能をビタミンAのみに留めず、更に本品は普通肝油と違って、大人極少量でも一日の量に茶匙に軽く一杯で充分、臭味少く、胃腸を傷めず、痢を起さず、費用僅少、理想の滋養強壯料。

濃厚肝油は、肝臓の健康を維持するための重要なアイテムです。その効果は、肝臓の機能を強化し、胆汁の分泌を促進することにあります。...

大正館

大正館は、最新の映画と演劇を提供する場所です。ここでは、最新の映画や演劇を楽しむことができます。...

旅の風来坊

旅の風来坊は、旅の楽しみを最大限に引き出すためのアイテムです。その効果は、旅の疲れを軽減し、旅の楽しさを増すことにあります。...

宗龍館

宗龍館は、最新の映画と演劇を提供する場所です。ここでは、最新の映画や演劇を楽しむことができます。...

朝日座

朝日座は、最新の映画と演劇を提供する場所です。ここでは、最新の映画や演劇を楽しむことができます。...

發行所 東京本町二丁目
合資会社 京城日報社
電話 四四〇〇番
印刷所 東京本町二丁目
印刷 小川三三

朝鮮共産黨の巨頭

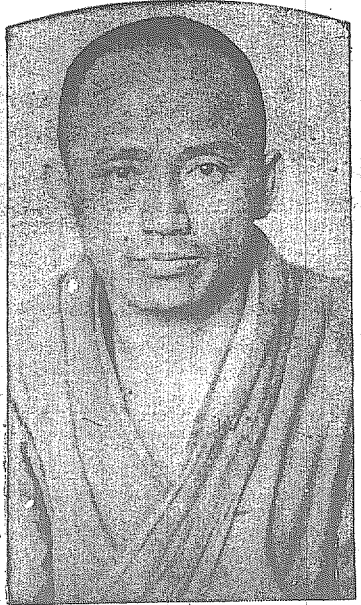
金燦の豫審終結さる

過去十餘年間暗中飛躍した

大立物裁きの庭に

朝鮮第一次共産黨大會に於ける金燦の巨頭としての活躍は、既に本紙に於いて詳述した通りである。金燦は、過去十餘年間、暗中に飛躍した大立物である。その活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、朝鮮に渡り、金日成の指導の下で、朝鮮共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、朝鮮に渡り、金日成の指導の下で、朝鮮共産黨の巨頭として活躍した。

朝鮮共産黨の巨頭 金 燦



東洋赤化を計る

共産黨の秘密結社

十五ヶ所にヤチエーカー組織

朝鮮共産運動の嚆矢

朝鮮共産運動の嚆矢である金燦は、大正十一年、朝鮮に渡り、金日成の指導の下で、朝鮮共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、朝鮮に渡り、金日成の指導の下で、朝鮮共産黨の巨頭として活躍した。

第一次朝鮮共産黨

雅叙園一味は結黨式を挙ぐ

法網を潜つて上海へ

金燦は、大正十一年、朝鮮に渡り、金日成の指導の下で、朝鮮共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、朝鮮に渡り、金日成の指導の下で、朝鮮共産黨の巨頭として活躍した。



氏夫凡牛簡

上海部を組織

崔元澤を吉林へ派遣

上海に渡つた金燦は、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。

満洲に主力を

一露人と會見の上

金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。

民族運動にも加擔

全滿に數十ヶ所の

ヤチエーカー結成

金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。

除名一逮捕

昨年四月ハ市に於て

金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。

簡牛前代議士に

絡る一萬五千圓

金燦の自供から暴露

金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。金燦の活躍の経緯は、大體、金燦の自供から知られる。金燦は、大正十一年、上海に渡り、金日成の指導の下で、上海共産黨の巨頭として活躍した。

本號外は本紙

に再録せず